

1. また、ペルガモにある教会の御使いに書き送れ。『鋭い、両刃の剣を持つ方がこう言われる。(2:12)

- a. すべての教会に対してイエスはそれぞれ独自の自己紹介をされている。ただし、私たち（黙示録全体を読むことができる者）にとっては、このような表現を見るのはこれが初めてではない。黙示録1章でイエスはすでにこれらすべての描写を使ってご自分のことをヨハネに紹介されている。
- b. これらそれぞれの教会に与えられた啓示はごく一部で、イエスの全体像が与えられたわけではなかった。ペルガモの教会に対しては「鋭い、両刃の剣を持つ方」という表現で紹介されたが、少なくともこの時点ではまだ他の啓示は与えられていなかった。
  - i. 私がこのことを取り上げたのは、私たちもイエスから啓示を受ける時 一部しか見えていないことがあるからである。私がイエスはこのようなお方だ、と語っても、もしあなたがそのような啓示を受けていなければ そんな話は聞いたことがない、と私の言うことを受け入れられないのではないだろうか。私自身も説教者として他の説教者のメッセージを聞く時、そのような傾向がある。
  - ii. 私たちは一人一人違うコーリング、違う啓示、違うチャレンジ、違う長所があるが、同じ主、同じからだの一部であるから、恵みと謙遜をもってともに仕えるべきである。
- c. 「～方が言われる」というのは旧約の「主が言われる」と同じ意味の新約での表現である。

2. 「わたしは、あなたの住んでいる所を知っている。そこにはサタンの王座がある。しかしあなたは、わたしの名を堅く保って、わたしの忠実な証人アンテパスがサタンの住むあなたがたのところで殺されたときでも、わたしに対する信仰を捨てなかった。(2:13)

- a. ペルガモはローマ皇帝の最初の神殿、ゼウスの神殿、エスクラピウスを祀ったすべての建物、小アジア全体のローマの管理部門、そして他の神々の神殿があった場所として知られる。それでサタンの王座と言われたのかもしれない。あるいはそこにサタンの王座があったので、これらの神殿のすべてからそのような霊が現われたのかもしれない。
- b. もしサタンの王座が真ん中にある教会に属すようにいわれたらあなたはどうするだろう？おそらく誰もがここから逃げ出さねば、と思うだろう。
- c. イエスは、ペルガモの教会が苦境の中にあり、殉教という究極の犠牲を払ってまでも忠実にイエスの証人であり続けたことを称賛されている。イエスはそこから離れるようには言われなかったが、信仰を持ち続けたことを称賛された。

3. しかし、あなたには少しばかり非難すべきことがある。あなたのうちに、バラムの教えを奉じている人々がいる。バラムはバラクに教えて、イスラエルの人々の前に、つまずきの石を置き、偶像の神にささげた物を食べさせ、また不品行を行なわせた。それと同じように、あなたのところにもニコライ派の教えを奉じている人々がいる。だから、悔い改めなさい。もしそうしないなら、わたしは、すぐにあなたのところに行き、わたしの口の剣をもって彼らと戦おう。(2:14-16)

- a. 彼らは外からの敵には耐えたものの内側からの敵の影響を受けてしまった。偽の教師や偽の教えが教会に侵入するのを許してしまった。
- b. これら偽教師たちは礼拝を通して、また道徳的に教会を堕落へと導いた。偶像礼拝や性的不品行が蔓延した。おそらく彼らは偶像にささげた物やいけにえを食べても良いと教えたのだろう。当時このような行為は単に宗教的儀式にとどまらず、ビジネスやコミュニティのコネクションを作る役割があったと思われる。これらの偶像礼拝の宴会に出席しなければ売り上げも得意先も失い、家族からのけ者にされるような事態になったのかもしれない。もしかしたらある教師たちはもっと献金をささげさえすればこれらの集まりに関わっても大丈夫だ、などと教えたのかもしれない。バラムは神の御声を聞いた預言者だったが、神に仕えるよりもお金に関心をよせていた。
- c. 罪はいろいろな形で現れるが、今の時代に最もよく見られるのは道徳的か不道徳的か、ということである。これはある意味では正しいといえるが、礼拝の方法、また違う形での礼拝も罪につながることもある。
- d. ニコライ派はキリスト者の自由を放縦な生活の口実として用いた人たち（訳者注）。イエス様は私の罪の代価をすべて支払ってくださったのだから何をしてもオーケー、という教えが報じられていた。私たちも気を付けないと神の恵みにフォーカスすぎて不道徳を侵入させてしまうことがある。

4. 耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。わたしは勝利を得る者に隠れたマナを与える。また、彼に白い石を与える。その石には、それを受ける者のほかはだれも知らない、新しい名が書かれている。』 (2:17)

- a. すべての手紙に見られるように、御霊が諸教会に言われることを聞く者には約束が与えられている。
- b. マナとはこれらの異教の神の宴会で偶像にささげられた肉に対して、神の摂理が勝利していることを表している。
- c. 白い石というのは当時の司法手続きで裁判にかけられた人が与えられる石：黒が有罪、白が無罪、ということを表しているのかもしれない。あるいはカルトの秘密の集会に入場するために使った石を指すのかもしれない。どちらにしても勝利を得る者には神が新しい名の入った石を用意してくださる。